

幼児のイントネーションをもとにした話し手の確信度の理解

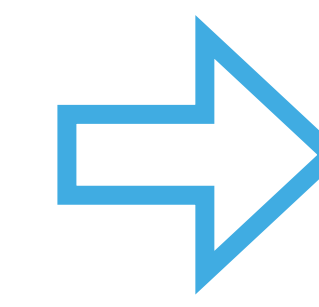
今井むつみ研究室 環境情報学部4年 71140583 石井美希

背景

子どもは言語的な手がかりや、声の調子・表情・ジェスチャーなど様々な言語外の手がかりをもとに相手の意図をくみとったり、ことばを学習することができる。

なぜイントネーションに注目したのか

- ✓赤ちゃんが最初に学習するのは母語のリズムやイントネーションの特徴(今井,2013)
- ✓感情を明瞭に表出しない文化の人々は、音声などの表情以外の他の手がかりを優先して用いている(重野,1990)



子どもは早期の段階で、話し手の確信度によって、話し手の教えることばを覚えようとする、しないを決めているのではないか

実験1

イントネーションを話し手の確信度に結びつけ、確信度が高い人からことばを学ぼうとするのは何歳でできるようになるのか。

対象

・15名の3歳
n=15, Female=4, Male=11, mean=37.8month, range=36-40month

・16名の2歳後半
n=16, Female=9, Male=7, mean=32.1month, range=28-35month

実験刺激

既知オブジェクト

新奇オブジェクト

チモ

ムト

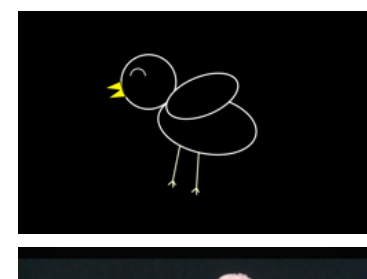
クナ

セネ

メケ

トマ

実験手続き



①ねえねえ、セネって何かなあ？



②これなの？セネはこれなの？

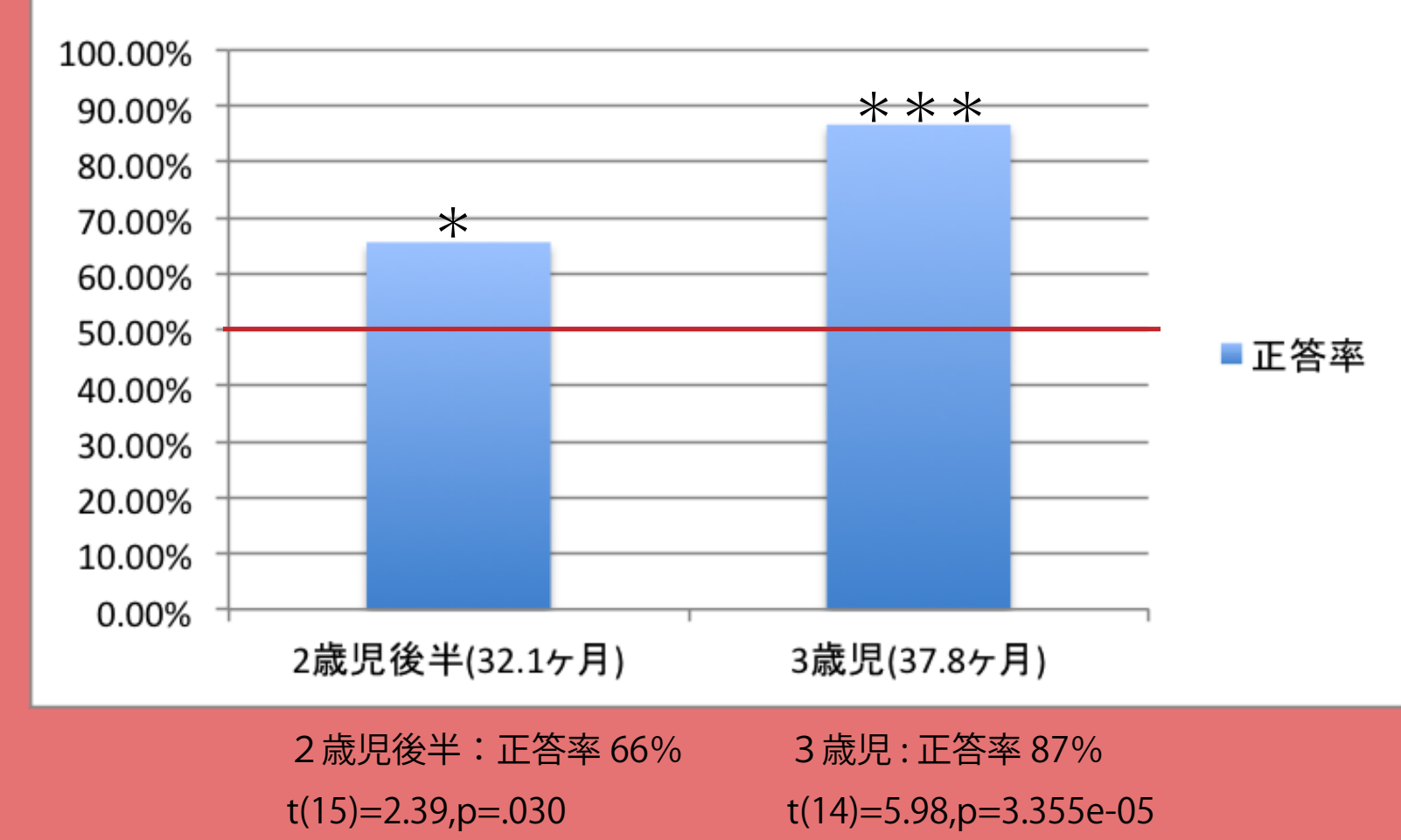


③これなの！セネはこれなの！



④セネはどっち？→<指差し>

正答率(Certainオブジェクト選択率)



結論：2歳後半からできる

実験2

文の意味がまったくわからなくてもイントネーションのみの情報だけで、話し手の確信度に結びつけ、未知語の推論に使うことができるのではなか。

対象

・14名の大人(慶應義塾大学の学生)
n=14, Female=8, Male=6

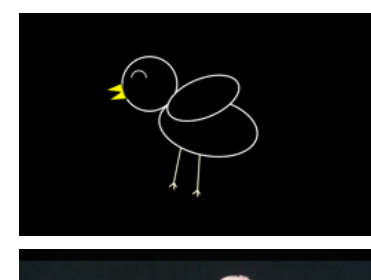
・14名の3歳児
n=14, Female=8, Male=6, mean=40.29month, range=36-43month

・20名の5歳児
n=20, Female=9, Male=11, mean=59.17month, range=48-72month

実験刺激

実験1と同様

実験手続き



①ねえねえ、セネって何かなあ？



②Celui-ci ? le sène c' est celui-ci ?

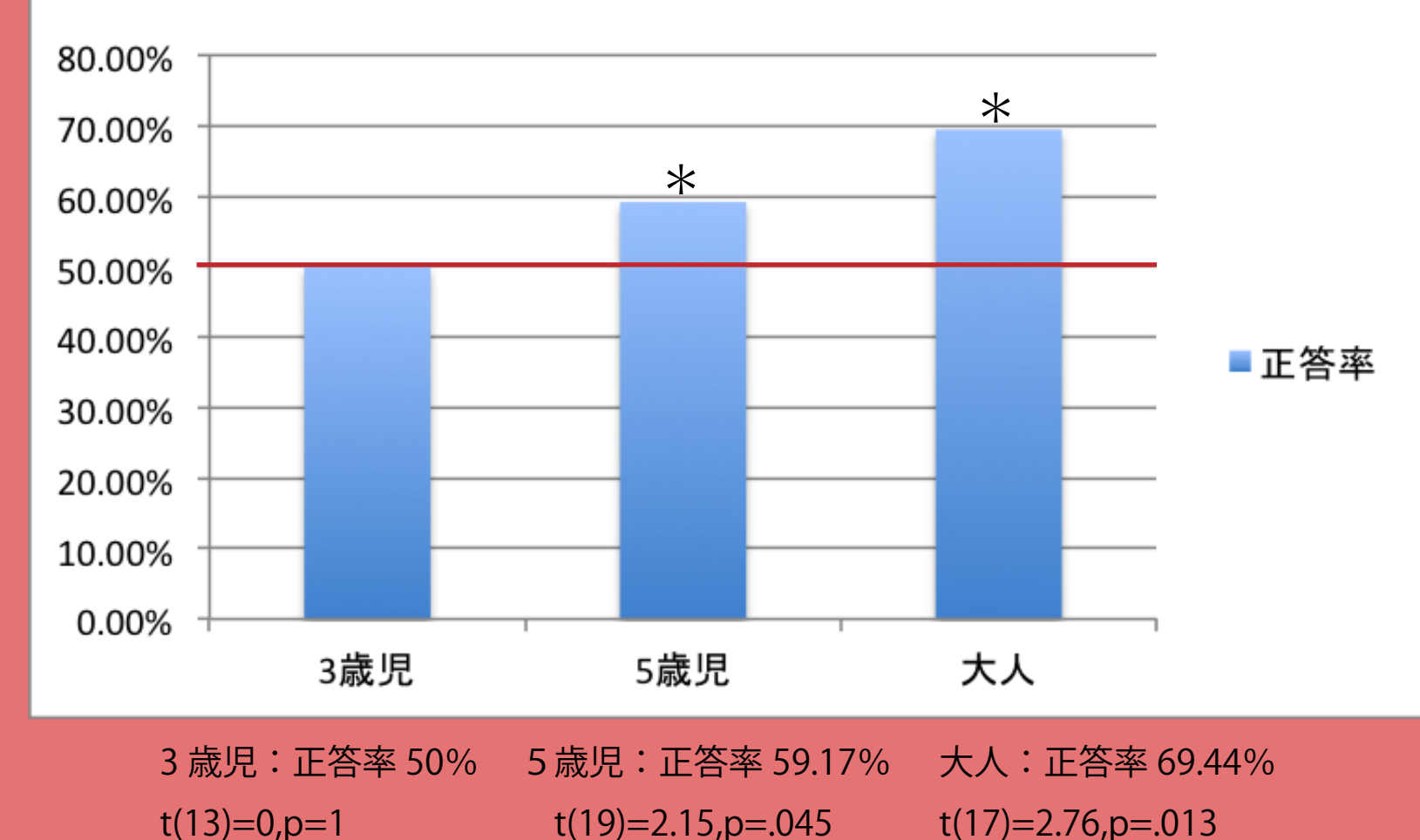


③Celui-ci ! le sène c' est celui-ci !



④セネはどっち？→<指差し>

正答率(certainオブジェクト選択率)



結論：5歳からできる

本研究のまとめ

なぜ2歳後半でできるようになるのか？

2歳前から始める語彙学習や習慣の獲得を含めて毎日が学習の機会。その間、正しい情報のみを知識として獲得することは非常に大切なことであるから。



～子どもの思い込み～

子どもにとって文の意味がまったくわからない音声刺激を提示した場合のみ。イントネーションに注目せず、自分にとってなじみのあるオブジェクトを指す人がいた。

↓ 子どもにとってなじみのあるオブジェクトだった



手がかりがわかりにく状況では一度自分の中で確からしい情報だと思い込んだ場合、それ以上疑わないという特徴を持っている。

今後の展望

ステップ1・2をわけて実験し、子どもの発達段階をより詳細にみていく必要がある。



ステップ1

話し手の
確信度の理解

ステップ2

未知語の
推論

正答